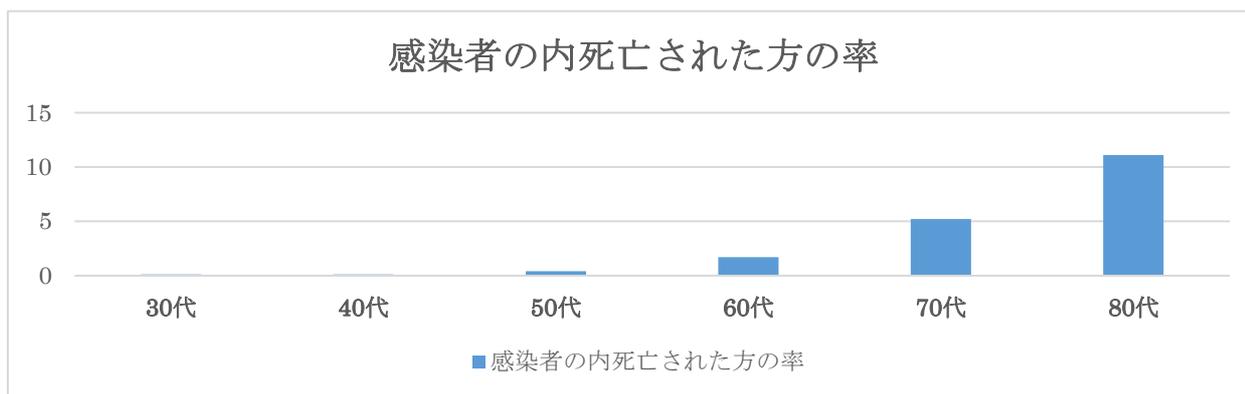
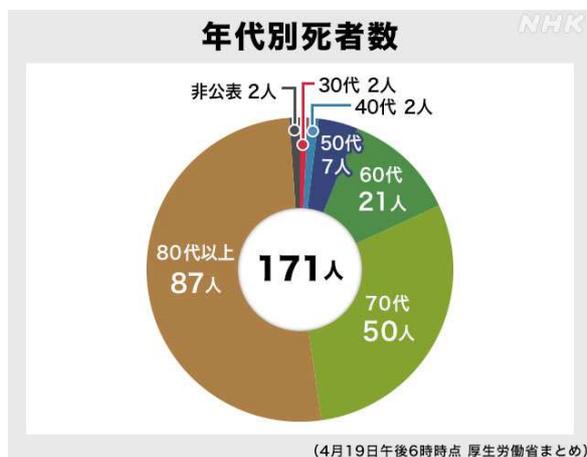


# 新型コロナウイルス感染症への施設対応について

## (公表情報の集約)

下表のとおり、特に高齢者が重篤化されていますので、たきの里では特段の注意を行っています。



上表のとおり、感染された方の内亡くなられた方は、30代40代では1,000人に1人ですが、80代以上では感染した人10人に1人、70歳代でも20人に1人が亡くなっています。このことから、ご高齢の方が生活されている施設では、新型コロナウイルスを持ち込まない対策が必要です。人から人へ感染しますので、接触者を少なくすることが最大の感染防止対策です。

このため、高齢者施設では、施設ご利用者への面会の制限や外出の制限を行っています。たきの里でも、入居者ご家族あてに当面面会制限させていただくことを通知し、ご理解をお願いしています。面会者ご本人が感染していなくても、来館までの途中で、無症状の感染者と濃厚接触されているかもしれません。面会者が見えないウイルスに触れたり・吸い込んだりされていると、そのまま施設内にウイルスが入ってきます。**面会制限**は施設内へウイルスを持ち込ませないためのお願いです。

入居者の皆様が外出され、店舗内で買い物中に他のお客さんと接触(接近)されることや、不特定の方が触るドアや陳列台・レジの台等に触れることにより、新型コロナウイルスを手

や空気中から無意識のうちに拾いこんでしまう場合があります。見えないウイルスに触れたり・吸い込んだりされていると、そのまま施設内にウイルスが入ってきます。**外出制限**は施設内へウイルスを持ち込ませないためのお願いです。

たきの里では、部外者の出入りを厳しく制限しています。出入される方が新型コロナウイルスを手や空気中から無意識のうちに拾いこんでいる場合があります。入館者には玄関のインターホンを鳴らしてもらい、要件を伺います。荷物等は玄関前で受取ることにして入館を制限しています。用務で入館される方には、手指消毒や検温に協力していただき、発熱した感染者が入館しないように計るとともに、氏名連絡先等を記録して、出来る限り事務所前でことを済ませていただきます。施設ご利用者の直接支援に入られる方には、訪問回数の少なくするようにご協力をお願いしています。**入館制限**は感染防止対策のためのお願いです。

高齢者ほど重症化するリスクが高いことが裏付けられています。千寿荘やケアハウス神島で生活されている方は、すべて重症化しやすい年代の方ですので、**施設職員は自らも体調管理や行動に注意**しながら、感染者が出ないように努めています。